

調査範囲：岩国市周東町瀬越（瀬越地区）、下松市樋口（笠戸島）

調査日：平成30年8月27日

調査団員：吉本憲正、梶山慎太郎、中田幸男（山口大学）

岩国市瀬越地区：久杉川（土石流発生溪流）に沿って出口から1.1 km（3／4）まで踏査



植林地帯で発生していることを確認



右岸側に支流があるが、これからの土砂流出は確認できない



左岸側の溪流の様子。見通しで、 33° 程度の傾斜。



侵食幅を確認

下松市樋口（笠戸島）：県道 173 号笠戸島線
尾郷地区



左側が法面の崩壊（鋼矢板による土留め）箇所、中央と右側が道路基礎の斜面崩壊

深淵地区



特に、左側の車線部が左斜め下方に数十センチ移動し、クラックが発生。

斜面崩壊の様相を呈していた。